

平成17年12月22日
第十管区海上保安本部

[問い合わせ先]
交通部整備課 上原 美智雄
〃 計画運用課 船間 純 一
電話 099-250-9800
内線 2640、2650

地球環境にやさしい灯台へ変更

～ 「曾津高埼灯台」全国第7番目の太陽電池出力へ～

十管区海上保安本部は、今年度、灯台9基（下表）の太陽電池化への変更を完了しました。これにより管内にある航路標識407基のうち227基（約56%）が自然エネルギー化されました。

変更完了した灯台のうち、奄美大島の曾津高埼灯台については、全国第7番目の発電出力(2,112w)の太陽電池となっており、この太陽電池化により、二酸化炭素(CO₂)排出量約360Kg(一般家庭の冷暖房設定温度を1℃抑制した場合の年間約12世帯分に相当)が削減されることとなります。

海上保安庁では、1950年代から積極的に灯台の電源として地球環境にやさしい二酸化炭素を出さない太陽電池(クリーンエネルギー)を使用して、地球の温暖化防止対策を行ってきており、今後も引き続き太陽電池化を促進していきます。

標 識 名	所 在 地	発電出力
天草崎津港灯台	熊本県天草郡河浦町	44w
牛深港宮崎突堤灯台	熊本県牛深市	10w
大多尾港三号防波堤灯台	熊本県天草郡新和町	44w
佐伊津港三号防波堤灯台	熊本県本渡市	10w
大浦港防波堤灯台	熊本県天草郡大浦町	44w
西之浜港南防波堤灯台	鹿児島県鹿児島郡十島村	88w
伊座敷港西防波堤灯台	鹿児島県肝属郡南大隅町	19w
手打港防波堤灯台	鹿児島県薩摩川内市(甕島)	44w
曾津高埼灯台	鹿児島県大島郡瀬戸内町	2,112w

曾津高埼灯台（鹿児島県大島郡瀬戸内町曾津高埼の先端に位置）



(参考)

曾津高埼灯台の略歴

奄美群島では一番古い灯台で日清戦争後、西南諸島から台湾に至る航路用の灯台のひとつとして、明治29年に軍事費により建設されました。

昭和20年には爆撃を受け灯台や建物に壊滅的打撃を被り、現在の灯台は、昭和63年に建て替えたものです。

草垣島灯台（平成15年度太陽電池化）



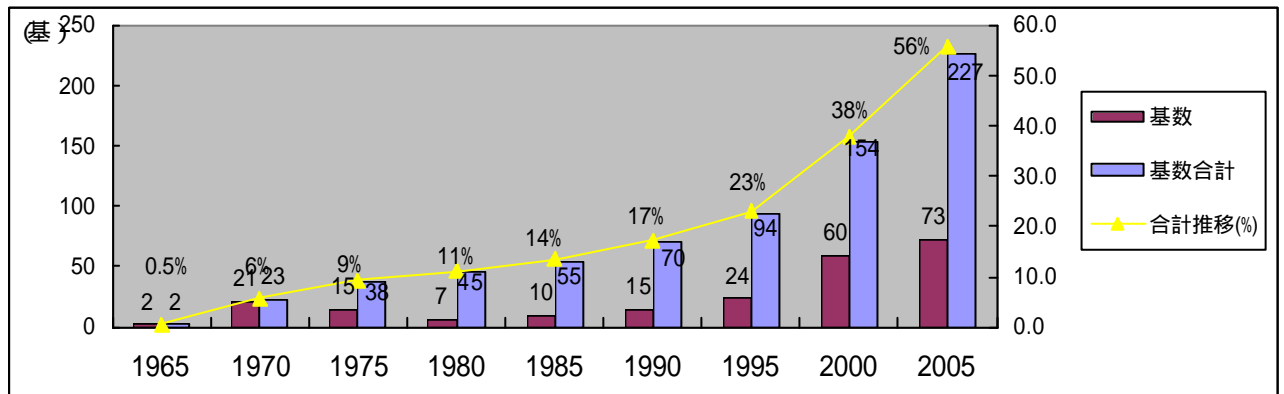
太陽電池発電出力上位7灯台

1	草垣島灯台（十区）	7920W
2	神子元島灯台（三区）	7600W
3	水ノ子島灯台（七区）	4200W
4	松前小島灯台（一区）	3600W
5	百貫島灯台（六区）	2640W
6	八島灯台（六区）	2496W
7	曾津高埼灯台（十区）	2112W

H17.12.1現在

ソーラーパネルは、1面が縦1.2m・横2m（略畳一畳の大きさ）で、草垣島灯台は30面、曾津高埼灯台は8面となっています。

クリーンエネルギー化推移表



年	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005
基数	2	21	15	7	10	15	24	60	73
基数合計	2	23	38	45	55	70	94	154	227
合計推移(%)	0.5	6	9	11	14	17	23	38	56

標識総基数：407基